会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（本町第一自治会）
2　日時	平成30年9月16日（日）13：15～14：15
3　場所	八王子会館
4　出席者	（資源循環課）原田副主査、下舞主任 （環境事業センター）広田主幹、安齋担当主査 （本町第一自治会）参加人数：82人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●プラスチック製容器包装類を出す際にシールを剥がしたり、かさを小さくしたりする努力が必要であると思う。 →できる範囲でシールなどを剥がした上で、プラマークの付いているものはプラスチック製容器包装類に、付いていないものは燃やせるごみとして出していただきたい。ただし、プラスチック製容器包装類でも汚れていれば、燃やせるごみとなる。また、収集や集積場所の問題から、なるべく小さくまとめていただくようお願いしたい。 ●ごみの有料化が前提のように思える。他市を真似しているようだが、茅ヶ崎市は茅ヶ崎市で良いと思う。不法投棄のデメリットや掛かる経費も十分考慮した上で、どのように市民に伝えていくか。啓発をきちんとしなければ、市民の納得は得られない。 →有料化や戸別収集については決定事項ではなく、今後市民の皆様の意見を聞いて検討していく。有料化や戸別収集は、全国の事例からごみの減量に有効な方策であるということで、真似をしているわけではなく、ごみの減量が必要であるという本市の課題を踏まえ、有効な方策として検討していきたいという趣旨である。啓発については、本日のような形で市民の皆様に継続的にお伝えしていきたい。 ●集積場所における問題の解消がメリットとして挙げられているが、藤沢市の状況を見ると、戸別収集によりたくさんのごみが置かれるようになり景観の悪化や収集に伴う細い道での交通渋滞が生じているように感じる。むしろデメリットなのではないか。 →ご指摘のように細い道においては、デメリットとなってしまうことも承知している。ここでは、自己責任で玄関先に排出することにより、これまで集積場所において不適正に排出されていたごみの管理がなくなるという一般的なメリットを記載している。 ●以前住んでいた市町村では裂けやすい袋であった。強度や使いやすさなどを考慮し、袋の材質を検討する必要がある。 →袋の種類には、材質が硬いものと柔らかいものがある。前者は重量に対する強度が強いが、素材が硬いため突起物に弱く裂けやすい。後者は伸縮性があり詰め込みやすいが、重量に弱く持ち上げた際に千切れやすい。他市の事例を参考に、本市でも検討

	させていただく。 ●市民一人当たりの処理経費について、茅ヶ崎市は国や県よりも高くなっているが要因は何か。 →自治体ごとにごみ処理の方法や扱っているごみの種類が異なるため、一概に比較はできない。あくまで参考値として捉えていただきたいが、要因としてはごみの収集における委託の割合が少ないことが挙げられる。今後も経費削減に向け、効率的な方法を検討していく。 ●茅ヶ崎市の場合はごみの収集を直営で実施しているのか。委託をした方が経費が下がると思うが、その点は検討しているのか。市民に負担を求めるのであれば、職員も身を切るような努力をしなければならない。 →資源物・大型ごみについては、委託により収集している。燃やせるごみ・燃やせないごみについては直営により収集している。民間に任せられるものは民間に任せるという基本的な考え方があるが、今後、経費を精査する中で、効率的な方法を検討していく。 ●有料化のメリットとして、費用負担に対する不公平感の解消とあるが、その分住民税を下げるのか。住民税を取った上で有料化をするということは、市民の負担が増えるだけであり、費用負担の解消とは矛盾するのではないか。減税した上で、その分を有料化で徴収するというのが、筋であると思う。 →有料化の仕組みとしては、減税ではなく、負担額の上乗せということになる。新たな負担額について、税で賄った場合はごみを多く出す方と少なく出す方で一律の負担となってしまうが、手数料として徴収することで費用負担に差が出て公平な負担となるという意味である。 ●不公平感を解消するということならば、減税した上で、そこからごみの量に応じて手数料を徴収しなければ、筋が通らない。記載されている内容は誤りであると思う。 →誤解を与えるような記載であることについては、お詫び申し上げたい。しかしながら、手数料を上乗せすることで、費用負担の公平性を図るというのが有料化の狙いであるということについては、ご理解いただきたい。 ●市民に負担を求めるということを強調して伝えてもらいたい。このような説明をするということは、すでに決定しているということであると思う。実施するのであれば、曖昧な数値や方向性ではなく、具体的なものを示さなければ市民の納得は得られない。 →ご指摘のとおり、記載内容について曖昧な点が多いことについては、承知している。有料化や戸別収集は決定事項ではない。できるだけ早い段階において、やわらかい内容を皆様にお伝えさせていただくことを目的に、このような意見交換会を開催している。そういった理由から、現時点では曖昧な内容となっている。今後調査や検討を行う中で、具体的な数値や方向性が定まったタイミングで皆様にお伝えさせていただくので、ご理解いただきたい。

	●有料化に関してはやむを得ない部分もあると感じるが、具体的な数値や方向性をできるだけ早く示してもらいたい。自治会としてもそれに合わせて対応しなければならない。現時点では、具体性がないためアンケートにも答えづらい。 →来年度の方針決定にあわせ、具体的な内容をお示しさせていただく。 ●有料化になった際、指定外の袋を用いて出した場合は、収集されないのか。 →指定外のものについては、啓発のシールを張った上で、そのまま収集せずに残しておくこととなる。地域の方にはご迷惑かも知れないが、不適正なものを収集してしまうと、きちんと出していただいている方は納得されないと思う。 ●啓発を強化していくとあるが、自治会に加入していない方への啓発はどのように考えているのか。徹底する必要があるのではないか。 →ご指摘のとおり、啓発については最大の課題であると認識している。今後、本日のような自治会の方々にお集まりいただく機会に加え、未加入の方にご参加いただく機会も設け、できるだけ多くの方にお伝えしていきたい。 以上